

平成29年度江別市行政評価外部評価に係る書面照会事項

戦略	戦略1A-②
事業No./事業名	6161 / 自治会活動等支援事業
担当課	市民生活課 市民活動係

1 調査事項(記載内容に関わるもの)

照会事項	回 答
・セミナー開催以外にも事業を行っているのであれば、その事業内容についても記載すべきである。また、具体的なセミナー内容についても記載すべきである。	指摘事項を踏まえ、「女性意見交換会」の実施内容について「手段」に追記するとともに、セミナーの内容を具体的に記載しました。
・自治会活動を支援することの重要性について「事業開始背景」に記載すべきである。	自治会が機能し、地域再生に繋いでいく必要があることを「事業開始背景」に記載しました。
・「事業開始背景」及び「事業を取り巻く環境変化」欄に自治会の重要性を記載すべきである。	「事業開始背景」に自治会が機能することの重要性を記載しました。 「事業を取り巻く環境変化」に大規模災害時の対応など様々な課題に対し、自治会の役割が重要であることを記載しました。
・担当課評価(3)「成果動向及び原因分析」欄において、「好評を得ている」と記載されているが、どこから好評を得ているのか具体的に記載すべきである。	参加者に対して、アンケートを実施しており、そのアンケート結果を記載しました。

2 調査事項(指標に関わるもの)

照会事項	回 答
・「成果指標」は、事業の意図に見合った指標を設定すべきである。	自治会活動への認識が深まり、自治会への参画意欲の向上を表す指標を設定するなど、今後、成果指標のあり方を検討します。

平成29年度行政評価外部評価委員会における書面照会結果

戦略	戦略1B-①
事業No./事業名	6136 / 大学版出前講座支援事業
担当課	企画課 企画係

1 調査事項(記載内容に関わるもの)

照会事項	回 答
<p>・出前講座を実施する意義について「意図」に記載すべきである。</p>	<p>出前講座を通して、多くの市民等が大学の取組を理解することを「意図」に記載しました。</p>
<p>・担当課評価(1)「目的妥当性」に記載されている文書では理由根拠が不十分であるため、「大学と地域の連携」についての重要性について記載すべきである。</p>	<p>4大学の特色ある研究や取り組みは、当市の強みと考えます。多くの市民がそれらの活動に理解を深めることで大学への理解につながり、協働のまちづくりの推進につながる点が理解できる記載としました。</p>

2 調査事項(指標に関わるもの)

照会事項	回 答
<p>・担当課評価(3)「成果動向及び原因分析」に記載されている「認知及び評判」が「成果指標」ではないか。</p>	<p>事業意図として、出前講座の開催を通じ大学の取組を多くの市民に知ってもらうことが重要であり、市民の「認知及び評判」は成果を表す一つの指標に成りうるものと考えます。今後「認知及び評判」の定量的な把握方法を含め、成果指標のあり方を検討して参ります。</p>

平成29年度行政評価外部評価委員会における書面照会結果

戦略	戦略1B-①
事業No./事業名	560 / 大学連携調査研究助成事業
担当課	企画課 企画係

1 調査事項(記載内容に関わるもの)

照会事項	回 答
・記載されている「手段」と「えべつ未来戦略推進計画書」の取組の概要について整合をとるべきである。	「えべつ未来戦略推進計画書」に記載されている取組の概要を「手段」に記載しました。
・調査研究事業がどのようなかたちで市民に生かされるのか「意図」に記載すべきである。	本事業が地域課題の解決に資する調査研究事業を支援する目的がある事が理解できるよう「意図」に記載しました。
・前年度の補助事業について、事業報告会を行っているのであれば、そのテーマを「事業内容」に列挙してはどうか。	「事業内容」に平成28年度の採択事業であります5事業の研究テーマを記載しました。
・「事業開始背景」及び「事業を取り巻く環境変化」について、記載が不十分である。	「事業開始背景」をできるだけ詳しく記載し、「事業を取り巻く環境変化」についても事業に影響があると考えられる状況を記載しました。
・担当課評価(3)「成果動向及び原因分析」において、具体的にどのようにまちづくりに生かされているのか記載すべきである。	研究結果については、実際に活用された事例もあり、報告会にて情報共有が図られるなど、まちづくりに生かされている旨を記載しました。
・担当課評価(5)「効率性」について記載内容では理由根拠として不十分である。	補助額や補助採択件数の削減は成果の減退につながるため、コスト削減と成果維持の両立が困難な旨を記載しました。

2 調査事項(指標に関わるもの)

照会事項	回 答
なし	-

平成29年度行政評価外部評価委員会における書面照会結果

戦略	戦略1B-②
事業No./事業名	615 / えべつ市民カレッジ(四大学等連携生涯学習講座)事業
担当課	生涯学習課 生涯学習係

1 調査事項(記載内容に関わるもの)

照会事項	回 答
・「ふるさと江別塾」の内容を「手段」に記載すべきである。また、「ふるさと江別塾」と「市民カレッジ」の違いを誰が見ても分かるよう「手段」に記載すべきである。	「ふるさと江別塾」の内容を「手段」に記載するとともに、「ふるさと江別塾」と「市民カレッジ」の違いを「手段」に分かりやすく併記しました。
・「事業開始背景」及び「事業を取り巻く環境変化」について、分かりやすく記載すべきである。	「事業開始背景」をできるだけ詳しく記載し、「事業を取り巻く環境変化」についても事業に影響があると考えられる状況を列記しました。

2 調査事項(指標に関わるもの)

照会事項	回 答
・「成果指標」を「講座数」ではなく、「参加者数」にすべきである。	講座の参加者数を把握するためには、大学からの情報提供が不可欠であるため、各大学の協力が得られるか確認の上、成果指標への「参加者数」の追加を検討します。

平成29年度行政評価外部評価委員会における書面照会結果

戦略	戦略4A-④
事業No./事業名	6138 / えべつシティプロモーション事業
担当課	政策推進課 主幹(シティプロモート)

1 調査事項(記載内容に関わるもの)

照会事項	回 答
<p>・「意図」に記載している「江別市の認知度の道内順位」について、順位を上げることでどのような効果があるのかを記載すべきである。</p>	<p>えべつ未来戦略1～3の活動の中で、企業誘致や観光や転入促進など市外の対象に働きかける場合全てにおいて、効果を出しやすくするためには、江別市の認知度の向上が必要である。当事業における成果(認知度の順位)を必要としている様々な目的が理解できるような記載を工夫します。</p>
<p>・「江別シティプロモート推進協議会」の「推進プロジェクト実践活動」が具体的にはどのようなものなのか分かりづらいため、「手段」や「事業内容」に具体的に分かりやすく記載してもらいたい。</p>	<p>事例を列記するなど記載内容を検討します。</p>
<p>・「事業開始背景」に、「定住人口や交流人口を増加させるため」と記載があるが、認知度の向上と定住人口の増加について、わかりやすく記載すべきである。</p>	<p>江別市は札幌市のベッドタウン的性格のまちとして人口が増加した経緯があり、このことから、人口規模の割に認知度が低いという現状があった。人口減少時代にあっては受け身ではなく積極的に売り込むために認知度が必要となる。このようなことについて、どのようにわかりやすく記載するか検討します。</p>
<p>・「事業を取り巻く環境変化」や「担当課評価(1)目的妥当性」に、「人口減少・少子高齢化」と記載があるが、江別市の現状について記載してもらいたい。</p>	<p>前項目と同様に、江別特有の事情・背景について、どのように記載すべきか検討します。</p>
<p>・事業主旨は理解できるが、事業の軸が見えてこないため、全体的に詳しく記載する必要がある。</p>	<p>当事業は、「手段」にも記載しているとおおり、推進組織において検討しながら実践活動を進めている。その検討の結果として、プロモーションの方向性がある程度固まってきているので、その現状について、どの記載欄で表現するのか検討します。</p>

2 調査事項(指標に関わるもの)

照会事項	回 答
なし	-